

伯耆町地域福祉推進プランの取組状況の概要

基本目標と主要な施策	R7年度の実施状況						R8年度の実施見込み					
	取組数	完了	実施	検討	未実施	中止	取組数	完了	実施	検討	未実施	中止
基本目標1 安心して暮らせる仕組みづくり	52	0	52	0	0	0	52	0	52	0	0	0
(1)総合的な相談体制の充実	12	0	12	0	0	0	12	0	12	0	0	0
(2)情報発信・情報共有の充実	7	0	7	0	0	0	7	0	7	0	0	0
(3)福祉サービスの充実	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
(4)権利擁護の推進	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
(5)配慮が必要な人への支援	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
基本目標2 支え合いの地域づくり	47	1	44	0	2	0	47	1	46	0	0	0
(1)地域福祉意識の高揚	8	0	8	0	0	0	8	0	8	0	0	0
(2)福祉ボランティア活動の推進	7	0	7	0	0	0	7	0	7	0	0	0
(3)小地域福祉ネットワーク活動の推進	10	1	8	0	1	0	10	1	9	0	0	0
(4)福祉活動への支援	7	0	6	0	1	0	7	0	7	0	0	0
(5)社会福祉協議会との連携強化	4	0	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0
(6)災害時の防災体制の充実	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
基本目標3 いきいきと暮らせる環境づくり	23	0	23	0	0	0	23	0	23	0	0	0
(1)地域における交流活動の充実	13	0	13	0	0	0	13	0	13	0	0	0
(2)社会参加・生きがいのづくりの推進	4	0	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0
(3)外出しやすい環境の整備	6	0	6	0	0	0	6	0	6	0	0	0
合計	122	1	119	0	2	0	122	1	121	0	0	0
		1%	98%	0%	2%	0%		1%	99%	0%	0%	0%

伯耆町地域推進プランは、基本理念『住民主役の誰もが安心して暮らせるまちづくり』として、本町の地域福祉の方向性として設定する「地域共生社会の実現」を目指し令和4年度から令和8年度までを計画期間として取り組んでいます。

このプランは上のように3つの「基本目標」と、この達成のために取り組む14項目の「主要な施策」があり、これらを具体的に実施するため各所管が行う取組み内容があります。

取組み内容の内、「実施」状態にあるものは令和7年度末は122件中の119件(98%)となりました。一方、「未実施」となっている取組み内容は令和7年度は「未実施」2件となっています。詳細は次ページに記載しています。

また、表示されている「完了」1件は介護支援ボランティア関係の所管が健康対策課から社会福祉協議会に移り、課としての取組みが終わったためのものです。令和8年度以降の今後の取組みで「未実施」はなくなることが見込まれています。

「未実施」の取り組み内容

取組み事項	所管	令和7年度の取り組み内容		今後の取り組み方針	
基本目標2 支え合いの地域づくり					
主要な施策(3)小地域福祉ネットワーク活動の推進					
小地域福祉ネットワーク活動の構築	社会福祉協議会	未実施	座談会 令和7年度未実施(座談会内容の検討をしたが、効果的な内容のものが見いだせなかった。)	実施	令和8年度からテーマを新たにして、地域の現状や課題について把握し、社協事業に活かしていけるようにする。
主要な施策(4)福祉活動への支援					
団体間の交流・連携の促進	社会福祉協議会	未実施	団体間連絡会 未実施(調整できなかった)	実施	各団体間の交流や連携が促進できるような場の検討をしていく。

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8

基本目標1 安心して暮らせる仕組みづくり

主要な施策(1)総合的な相談体制の充実

総合的な相談体制の充実															
具体的な施策															
総合的な相談体制の充実	分野別相談窓口の強化	◆各分野で高度化、多様化する福祉相談に的確に対応するため、必要な相談窓口を整備するとともに、各窓口で利用者の立場に寄り添える相談体制を推進します。 ◆様々な相談内容に対応できるよう各種研修への参加等により職員のスキルアップを図り、分野別相談窓口の強化を図ります。	1	福祉課	福祉に関する相談窓口として、法制度等に基づき生活困窮者、障がい者、児童、ひとり親などの相談に対応した。	必要に応じ課の相談機能を充実していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				健康対策課	地域包括支援センターで3職種により専門的相談に対応した。 《相談件数》 ・介護保険、その他サービスに関すること 423件 ・権利擁護に関すること 4件 ・高齢者虐待に関すること 1件 ・認知症に関すること 121件 ・その他 47件 合計 596件	高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていくために、介護だけでなく、福祉や医療、成年後見制度などさまざまな制度を組み合わせ、総合的に支援していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	各種相談窓口を継続して設置した。 ・生活困窮者自立支援事業 ・福祉サービス利用援助事業 ・貸付事業 これら直接的な生活相談窓口の他、各種地域福祉事業や介護事業においても相談があれば受け付け、法人全体として連携して各種相談に対応した。	現在の相談窓口を引き続き設置するとともに、本会では対応できない相談は適切な支援機関につないでいく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				福祉課	各分野の研修会等に参加し、専門知識や相談スキルの向上に努めた。	引き続き研修に参加し相談スキルの向上を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				健康対策課	南部箕蚊屋広域連合が行う各種研修会に積極的に参加した。 ・地域包括支援センター職員研修会 基礎研修 1人 初任者向け 2人 ・地域包括ケアシステム推進セミナー 2人 ・認知症初期集中支援チーム員研修 2人	引き続き各種研修会に参加し、専門的知識や相談スキルの向上に取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	相談援助技術向上のため各相談関係の研修会に参加した。	今後も研修会等に参加して職員のスキルアップに努める。	実施	実施	実施	実施	実施				
	相談窓口の周知	◆支援を必要とする人が、必要な時に、必要な相談窓口につながるができるように、各相談窓口が住民に充分浸透するよう効果的な周知を行います。	2	福祉課	各種相談窓口を広報紙、ホームページ等で周知した。	引き続き各種相談窓口の効果的な周知を行えるよう取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施				
				健康対策課	広報ほうき及び南部箕蚊屋広域連合広報やまびこに相談窓口に関する記事を掲載した。 ・広報ほうき7回(4・5・6・8・10・11・12月号) ・南部箕蚊屋広域連合広報やまびこ2回(9・3月号)	継続して専門職が連携し、介護保険だけでなく様々な制度を活用し、高齢者を総合的に支援していることを周知していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	相談窓口を広報紙、ホームページ、チラシ等で周知した。	引き続き相談窓口を周知していく。	実施	実施	実施	実施	実施				

施策		⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	⑪数値目標及び目標達成状況				
							R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8	
	相談窓口の連携	◆各分野で整備される様々な相談窓口間で円滑な連携を図り、複合的な地域生活課題に支援機関が連携して対応できる体制を構築していきます。	3	福祉課	相談窓口や関係する機関が円滑に連携できるよう以下の会議を開催した。 ・子ども家庭総合支援連絡会 子ども施策関係機関連携 毎月定例開催 ・相談機関ネットワーク会議 重層事業の実施検討、つなぐシートの導入、生活困窮者支援会議を設置した。 ・支援分野が重なるケースでは関係各分野が弾力的に連携し支援を実施した。支援調整の打合せを緊密に行った。	円滑な連携が保てるようR8からは相談機関ネットワーク会議は廃止し、生活困窮者支援会議として開催していく。	実施	実施	実施	実施	実施		相談機関ネットワーク会議の開催回数	未実施	年2回	年2回	
				健康対策課	【地域ケア会議】 分野横断する課題の庁内や関係機関との連携体制を確立し、個別ケースの検討を通して、利用者支援と同時に、介護支援専門員の実践力も高めながら、地域ケア会議を機能させた。 実施回数 10回 検討ケース 10件 【地域ケア推進会議】 個別課題の検討・抽出を行い、町村単位で協議・検討し政策形成につなげる場を設けた。 実施回数 1回	町内医療機関を含む関係機関との連携を深め、個別ケースの検討を通して、利用者支援と同時に介護支援専門員の実践力も高めながら、地域ケア会議を機能させていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	地域における総合相談・支援体制の拡充	◆地域における相談体制の充実を図るため、身近な相談相手である民生委員・児童委員の活動を支援します。	4	福祉課	民生児童委員の相談活動を支援するため助成を行った。	継続して助成を行い活動支援を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
主要な施策(2)情報発信・情報共有の充実																	
情報発信・情報共有の充実	具体的な施策																
	わかりやすい福祉情報の提供	◆支援を必要とする人や福祉サービスを利用する人が、必要とする情報を得ることができるよう、分かりやすくきめ細やかに情報を提供します。 ◆必要な人が必要な情報を適切に選択できるよう、広報誌やホームページをはじめ様々な情報発信ツールを活用し、わかりやすい情報提供に努めます。	5	福祉課	・子育て関係行政サービスを紹介するパンフレットなどを作成し、窓口を設置した。 ・パンフレット掲載情報の詳細をホームページに掲載し、最新かつ詳しい情報を閲覧できるようにした。	引き続きわかりやすい福祉情報の提供に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施		福祉サービスに関する情報の入手状況 「十分できている」、「まあまあできている」と回答した割合	20%	次回アンケートでの把握内容	増加	
				健康対策課	高齢者のための各種福祉サービス一覧を作成し、必要に応じて配布した。またホームページに掲載し、いつでも閲覧及びダウンロードできるようにした。	高齢者に関する介護保険に関するサービス給付以外の福祉サービスについて随時見直し、一覧表にして提供する。	実施	実施	実施	実施	実施						
				社会福祉協議会	サービス利用促進につながるように福祉情報を広報紙、ホームページ、チラシ、ふくしの集い等で住民に周知した。	引き続き、様々な媒体や機会を通じて福祉情報の提供に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	情報手段の効果的な活用	◆支援を必要とする人が、必要なときに、必要とする福祉情報を得ることができるよう、広報誌やホームページ等を活用し情報を提供します。 ◆SNS等、利用しやすいツールの活用を検討していきます。	6	企画課	広報紙、区長便配布チラシ、テレビ番組、文字放送、ホームページ、Youtubeを活用し、情報発信を行った。また、公式LINEの導入を検討し、令和8年度から実施する予定。	引き続き情報伝達ツールを検討する。	実施	実施	実施	実施	実施						
社会福祉協議会				・生活困窮者自立支援事業においてSNS(LINE)を活用した相談対応を行った。 ・ホームページと広報紙に、生活困窮者自立支援事業の相談窓口について常時掲載している。	引き続き効果的な活用に努める。	実施	実施	実施	実施	実施							

施策			⑦内容	番号	④所管	⑨R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	⑪数値目標及び目標達成状況			
								R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8
		身近なところでの 情報共有の充 実	◆民生委員・児童委員等への情報提供を強化し、地域での情報提供・共有体制の強化を図ります。 ◆地域へのアウトリーチと連携による情報収集・提供体制を強化します。	7	福祉課	民生委員・児童委員が、住民の多様な相談に的確にアドバイスができるよう、研修会や情報提供等を行った。	引き続き研修会や情報提供等を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
					社会福祉協議会	地域へのアウトリーチと連携による提供体制強化として以下の取り組みを行った。 ・愛の輪運動推進会議(兼福祉委員研修会)を6地区で開催し、地域の現状について意見交換等を行うと共に、支援や援助を必要としている方がいる場合に本会に繋げてもらえるようお願いした。 ・各種事業及び団体事務の事業を通じてニーズの把握に努めた。	組織や事業の特性を活かして、引き続き様々なニーズと課題を把握できるように努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
主要な施策(3)福祉サービスの充実																	
福祉サ ービスの充 実	具体的な施策																
	インフォーマル (制度外)サー ビスの充実	◆民生委員・児童委員に適切な情報提供を行い、福祉サービスの情報の周知を図ります。 ◆配食サービス等による見守り・訪問活動等を継続します。 ◆地域住民や地域組織による自主的な活動が実現するよう支援します。	8	福祉課	民生委員・児童委員が、住民の多様な相談に的確にアドバイスができるよう、研修会や情報提供等を行った。	引き続き研修会や情報提供等を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
				社会福祉協議会	配食サービス事業を実施し、定期的な見守り活動や日々の生活状況の把握に努めた。 年184回、4,230食	引き続き見守りや安否確認が必要なケースについて、配食サービスを通した見守り活動を行う。	実施	実施	実施	実施	実施						
				社会福祉協議会	友愛訪問事業を実施し、定期的な見守り活動や日々の生活状況の把握に努めた。 対象者129人	引き続き見守りや安否確認が必要なケースについて友愛訪問を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
				健康対策課	日常生活支援を行い助け合う住民主体の仕組みを構築する推進役として、生活支援コーディネーターを配置し、デマンドバスの利用促進や高齢者の通いの場について地域と意見交換する等の取り組みを行った。	引き続き生活支援コーディネーターの地域での取り組みを推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	利用者ニーズに 応じたサービス づくり	◆利用者ニーズに応じてサービスの新設、見直しを検討していきます。 ◆マネジメント機能を強化し、一人ひとりに応じたサービス提供を推進します。	9	福祉課	・子ども家庭総合支援拠点運営事業 設置形態 小規模A型 配置人員2人 ・養育支援訪問事業 対象 26ケース 訪問回数 直営26回 委託137回 ・子育て世帯訪問支援事業 伯耆町社協に委託 対象 3ケース 訪問回数171回 ・ファミリーサポート事業 登録会員数53人 延べ依頼件数10件	引き続きニーズに応じたサービスの 新設、見直しを検討していく。ファミ リーサポート事業は、支援会員確保 が課題。	実施	実施	実施	実施	実施						
				社会福祉協議会	独居世帯や高齢者世帯などの本人以外の世帯員からの支援が十分ではない方のため、書類の内容理解や書類記載を支援する「読み書きサポート事業」を実施した。 登録者3名 支援回数2回	既存事業や公的サービスで対応できないニーズや課題に対して、随時サービスの 新設を検討していく。	実施	実施	実施	実施	実施						

施策		⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況			
							R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8
				社会福祉協議会	各事業でケース検討会議等を行い、総合的なマネジメント力の向上を図った。また、各種相談業務では個別ケースにおいて他機関等とも連携してニーズに対応できるように調整を図った。	継続してマネジメント力が強化できる体制充実に努め、様々なニーズに応えられるようにしていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				健康対策課	南部箕蚊屋広域連合の居宅介護支援事業所のケアマネジメント業務を推進するため、事例を通してケアマネジメント支援会議を開催した。 実施回数 2回	居宅介護支援事業所のケアマネジメント業務の推進とケアマネジメント技術の向上を目的に、事例を通して視点の確認、知識の共有を図るための支援会議を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	介護・福祉・生活支援サービスの充実と質の確保	◆個別計画に基づき、関係機関と連携してサービスの提供体制の充実に取り組みます。 ◆適切なサービス提供が行われるように事業所の指導や苦情解決等に取り組みます。 ◆サービスの質の向上を図るため、人材の育成に努めます。	10	福祉課	福祉サービスの充実のため、所管分野のサービスの量、質の確保のため施設、事業所への監査、指導、協議を行った。	引き続き関係事業所に対し協議、指導、監査等を行い、サービスの質量が確保できるよう努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施		町の福祉施策に対する満足度 「満足している」、「ある程度満足している」と回答した割合	45%	次回アンケートでの把握内容	増加
				健康対策課	介護、生活支援サービスの充実のため、所管分野のサービスの量、質の確保のため施設、事業所への監査、指導、協議を行った。	引き続き関係事業所に対し協議、指導、監査等を行い、サービスの質量が確保できるよう努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	苦情処理解決第三者委員会を設置し、第三者の意見も反映させながら苦情等に対して適切に対応した。 介護サービスにおいて、運営指導や集団指導を受けてサービスの質の向上に努めた。	苦情処理解決第三者委員会、定期的な運営指導等を受けることによって適切なサービスの質の確保に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

主要な施策(4)権利擁護の推進

具体的な施策																
権利擁護の推進	権利擁護、成年後見制度の周知と利用促進	◆関係機関と連携し、制度の普及啓発を図り、制度の利用につなげます。 ◆必要に応じて、成年後見町長申し立てや成年後見人報酬助成を行います。 ◆成年後見制度の利用促進のため、専門職による専門的助言等の確保や広報・相談支援等の中核的な機能を担う機関を設置します。	11	福祉課	制度の普及啓発のため法人後見支援事業を県西部9市町村共同委託の形で実施した。 委託先: 一社)権利擁護ネットワークほうき 共同委託総額: 229,426円 うち伯耆町分: 10,682円	継続して事業に取り組み、法人後見制度の浸透を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施		成年後見制度の認知度 「制度内容を含め知っている」と回答した割合	27.9%	次回アンケートでの把握内容	増加
				福祉課	障がいにより市町村長の後見開始の審判等の請求を要する者への支援のため「成年後見制度利用支援事業」を実施するもの。 利用実績 0件	申請が出た場合対応できるよう事業を維持していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				健康対策課	身寄りがいない、経済的虐待を受けているなど特に必要があると認めるときは、市町村長が後見開始の審判等の請求を行うもの。 利用実績 0件	継続して、支援の必要な高齢者の利用促進を図り、高齢者の権利擁護を進めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				健康対策課	中核機関としての役割を果たすため、一社)権利擁護ネットワークほうきに業務の一部を委託し、高齢者の成年後見制度の活用を推進した。 ネットワークほうきでの相談受付 95件	成年後見制度等に係る専門的な法的支援が必要な相談等について、弁護士、司法書士、税理士、社会福祉士、行政書士、精神保健福祉士などで構成する「一般社団法人人権擁護ネットワークほうき」に委託し、制度利用の推進をしていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策		⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況							
							R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8				
	虐待の未然防止 と早期発見、早期対応	◆高齢者、障がい者や子どもに 対する虐待の防止に向け、住民 への意識啓発を行います。 ◆関係機関等との連携や情報共 有を図りながら、早期発見・早 期対応して事件・事故の未然防 止に努めます。	12	社会福祉協 議会	認知症高齢者等のうち判断能力が不十分な方を対 象に、福祉サービスの利用援助や金銭管理サービ スを行う「福祉サービス利用援助事業」を実施した。 利用者15人、支援回数322回	引き続き事業を継続し、支援を必要 とする人が地域の中で安心して暮ら せるようにサポートする。	実施	実施	実施	実施	実施									
				福祉課	関係機関との情報共有を図り、支援につなげること ができた。 ・要保護児童ケース 34件(R7年度末) ・要対協個別支援会議開催 51回	関係機関と連携を図り、児童虐待防 止対策の充実と支援体制の強化を 図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施									
				福祉課	・障害者虐待の防止、擁護者に対する支援を虐待 防止センターにて実施するもの。 相談対応件数 0件	引き続き障害者虐待の防止啓発 や、関係機関との連携を充実させ、 支援体制の充実を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施									
	人権教育・男女 共同参画の取り 組み推進	◆お互いの人権を尊重すること の重要性を正しく認識し、他者 の人権を十分尊重した行動が取 れるように人権教育・人権啓発 を推進します。 ◆家庭生活や地域での社会活動 に男女が対等に参画することが できるよう取り組みを推進しま す。 ◆心のバリアフリーにつながる 取り組みの推進により地域住民 が支え合う理念の周知を図りま す。	13	教育委員会	人権を尊重する住民意識の醸成のため、ひまわり セミナー、伯耆町人権フォーラム、人権啓発標語等 を通じて各種の人権課題の啓発を行った。	引き続き、各事業を通じて効果的な 啓発に努めている。	実施	実施	実施	実施	実施									
				総務課	男女平等の住民意識の醸成のため、男女共同参画 推進計画に基づき、意識啓発に関する広報を実施 した。(広報ほうき、CATV、防災無線) 第4次伯耆町男女共同参画推進計画に向けて評 価・見直しを行った。	引き続き広報を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施									
				関係各課	関係各課の計画や所管事業において住民同士が 支え合いながら暮らす地域づくりを推進の基本とし た取り組みを推進した。	引き続き所管事業を通じて支え合い の理念周知の取り組みを行ってい く。	実施	実施	実施	実施	実施									

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8
主要な施策(5)配慮が必要な人への支援															
配慮が必要な人への支援	具体的な施策														
	地域社会からの孤立の防止	◆引きこもり、障がい、ひとり暮らし、ひとり親等についてそれぞれの相談窓口の体制を強化し、当事者意識に立ちながら、対象者が地域社会との繋がりが保てるよう支援していきます。 ◆友愛訪問等のアウトリーチを通して、配慮が必要な人を早期に発見し、必要な支援策に結び付けます。 ◆サロン活動や支え愛マップづくりを通じて、地域づくりを推進していきます。	14	福祉課	・福祉に関する相談窓口として、法制度等に基づき生活困窮者、障がい者、児童、ひとり親などの相談に対応した。 ・ひきこもり支援や孤独・孤立対策など県が県下で整備を進める連携体制構築の会議に参加し、意見交換を行った。 ・ひきこもり支援を行う「ひきこもりサポート事業」を実施。(実施先:伯耆みらい)。	必要に応じ課の相談機能を充実していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	友愛訪問事業を実施して、独居高齢者の生活の把握と必要に応じてサービスに繋ぐなどした。 対象者129名	引き続き実施し、独居高齢者の地域生活の現状の把握や課題の解決に向けて積極的にアウトリーチする。	実施	実施	実施	実施	実施				
					福祉委員による見守り活動により活動地域で支援が必要な人を把握し、支援のため関係機関に繋いだ。	引き続き活動を推進するとともに、様々なアウトリーチ手法を検討し、配慮が必要な人の早期発見に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
				社会福祉協議会	孤立の防止や地域の通いの場として以下の事業を実施し、地域づくりを推進した。 ①サロン事業の取組推進 サロン助成45集落(実施回数195回) ②支え愛マップづくり 1集落	引き続き事業に取り組み、地域づくり活動を推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
	貧困等で生活が困難な人の生活支援	◆自立した生活が困難に陥っている人を、地域や関係機関と連携して把握し、自立や就労に向けた相談や金銭的支援を行います。	15	福祉課	生活困窮者自立支援事業を実施し生活が困窮する人の支援を行った。 ・生活困窮自立支援事業 伯耆町社会福祉協議会に事業を委託 委託料 7,835,349円 ・住居確保給付金 申請 0件 物価高騰等による家計急迫の低所得者世帯に対し助成を行った。 ・家計負担激変緩和対策事業助成(4回実施) 対象(延べ) 540世帯 助成総額 3,648,000円 (1世帯当たり合計(最大)27,000円)	必須事業のほか、他の支援についても実施検討を行う。また、低所得者世帯に対する助成金等について、引き続き県補助金等を活用しながら事業を継続する。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	生活にお困りの方をサポートするために以下の事業を実施し、支援を行った。 ・生活困窮自立支援事業 新規相談5人、継続相談14人 ・貸付事業 相談1件(貸付1件) ・えんくるり事業 利用者0人 ・困窮時食料支援事業1件	引き続き事業を継続し、生活に困った方が自立した生活ができるようにサポートしていく。	実施	実施	実施	実施	実施	実施			

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8
			福祉課	ひとり親家庭の父又は母に就職を容易にするために必要な資格の取得を促進するため当該資格に係る養成訓練の受講期間に給付金を支給する事業を実施した。 母子家庭自立支援給付金 支給人数 0人	引き続き、申請が出た場合対応できるよう事業を維持していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	自死予防の推進	16	福祉課	心の健康づくり推進の取り組みを実施した。 ＜心の健康相談＞ 保健師による個別面談を定期で実施した。 実施回数 12回及び随時 相談者数 80人 ＜心の健康講演会＞ ①精神疾患や精神障がい者に対する正しい知識の普及のため、講師を招いた講演会を実施した。 参加者数:41人 講師:しのめ診療所医師 ②中学生心の健康教室 岸本中学校1年生	精神疾患の早期発見・早期治療に努め、必要な医療やサービスにつなげていく。	実施	実施	実施	実施	実施	令和6年度より、自死対策事業の所管が健康対策課から福祉課に移管				
	子どもの安全の確保	17	教育委員会	登下校時の犯罪や事故防止のため、岸本地域に1人、溝口地域に1人、計2人のスクールガードリーダーを配置した。	登下校時の犯罪や事故防止のため、子どもたちの安全を見守る体制を整備していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	消費者被害の防止	18	住民課	消費生活相談の取り組みを以下のとおり実施した。 ・相談窓口の開設 相談件数17件 ・出前講座 2回開催	悪質商法契約のトラブル、食品や製品にかかわる事故及び特殊詐欺などの被害相談の解決に向けた助言・注意喚起を行う。老人クラブ等の要望により消費生活講座の出前講座を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			住民課	地域包括支援センターが実施している「伯耆町認知症SOSネットワーク」に「伯耆町消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)」の機能を持たせることとした。	伯耆町認知症SOSネットワークに見守りネットワークの機能を持たせることで情報共有及び見守り体制の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8

基本目標2 支え合いの地域づくり

主要な施策(1)地域福祉意識の高揚															
具体的な施策															
地域福祉意識の高揚	福祉教育・福祉体験活動の推進		19	福祉課	社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に対し補助金を交付した。 ＜補助率＞10/10 ＜支出済額＞759,261円	福祉教育活動の推進するため、引き続き事業に要する補助を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	夏休みふくしボランティア体験交流を実施した。 6メニュー 参加者126人	子どもたちの福祉意識醸成のため、各種体験メニューを実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	福祉教育として、車いす・高齢者疑似体験について小学生を対象に実施した。 溝口小学校5年生18人、八郷小学校4年生5人、岸本小学校3年生65人	二部小学校も含めた町内全小学校で実施できるようにする。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	教育委員会を通じた中学生ボランティア(ゆめネット)を受け入れ、各種事業にボランティアとして受け入れた。 7事業、35人	継続して受け入れ、中学生のボランティア意識醸成に努めていく。	未実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	福祉啓発を目的としたイベントを実施した。 「ふくしの集い」 令和7年9月27日 ・講演(講師:全国社会福祉協議会 副会長 古都賢一氏) ・eスポーツ大会、展示・販売、日赤炊き出し ・参加者 約120人	継続して福祉啓発のイベント開催に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施				
	地域福祉についての意識啓発の推進		20	福祉課	障がいの特性理解や理解意識の啓発を目的とした「理解促進事業」として「地域支援セミナー」を県西部9市町村共同で実施した。(米子市が支払し、事業終了後に米子市への負担金方式で実施) 共同実施総額:50,000円 うち伯耆町分: 2,328円 ・鳥取県西部障害者自立支援協議会で「障害当事者のお話を聴く会」を開催し、参加者の当事者視点の意見を聴取して今後の協議会活動に反映し、R8年度から当事者部会を設置するようにした。	継続して鳥取県西部障害者自立支援協議会で西部圏域の障害福祉に関する研修事業を企画し、障害や制度理解を進めていく。	実施	実施	実施	実施	実施	住民相互の協力関係についての認識 住民相互の自主的な協力関係が「必要だと思う」と回答した割合			
				健康対策課	認知症の基礎知識や予防方法、町が実施している事業、脳を活性化させる脳トレ等を掲載した「オレンジガイド」を作成。広報ほうきに差し込みし、発行した。 発行回数 6回(奇数月に発行) 発行数 3,900枚/回	引き続き、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図り、自分事として認知症をとらえることにより、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指す。	実施	実施	実施	実施	実施				
				企画課	担当課・関係者からの要請によりCATVで番組やニュースを制作、情報発信を行った。	引き続き、番組制作を通じ地域福祉の情報発信に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施				
												次回アンケートでの把握内容			
												66.8%			
												増加			

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑧-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑧-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	⑨数値目標及び目標達成状況				
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8	
主要な施策(2)福祉ボランティア活動の推進																
福祉ボランティア活動の推進	具体的な施策															
	ボランティアセンターの充実とネットワークづくり	◆福祉ボランティアに関する関係団体・個人との連携を強化し、福祉ボランティアセンターの機能の充実を図ります。	21	社会福祉協議会	ボランティアセンターとしてボランティア活動の支援に取り組んだ。 ・登録者 55人 ・認知症予防教室ボランティア 参加者 305人 ・ゆるっとボランティア 40回実施、参加者 110人	既存の事業を継続しながら、より幅広いボランティアの依頼や派遣を調整できるように機能の充実を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施		伯耆町社会福祉協議会ボランティアセンターに登録している人数	44人	55人	50人
	ボランティア活動の周知・啓発	◆ボランティアに関する情報の収集と発信を行います。 ◆ボランティア活動を担う人材の発掘、育成を行います。 ◆ボランティア活動報告や参加者募集等の情報提供を行います。	22	企画課	文字放送や区長便等での情報提供や広報誌掲載・番組制作でボランティア活動の報告機会を設けた。	引き続き情報提供や活動報告の場を設け、必要に応じて活用ができる状態を整備する。	実施	実施	実施	実施	実施		ボランティアや地域の活動への参加意向「現在参加している」、「今後参加したい」と回答した割合	48.9%	次回アンケートでの把握内容	増加
				社会福祉協議会	ボランティア情報の提供、収集を行った。 ・広報紙でボランティアセンターの活動報告と募集 ・ボランティアセンターだより 年1回発行(2月)	ボランティアセンターだより、広報紙を活用して住民にボランティア情報を周知していく。	未実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	ボランティア活動人材の発掘・育成に取り組んだ。 ・ゆるっとボランティア ・ボランティア研修会(地域支援ボランティア養成研修) 全5回、参加者数 延べ52人	ゆるっとボランティアを継続実施し、ボランティアの裾野を広げる。ボランティア活動推進のため研修会を継続実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
	継続的な取り組みへの支援	◆継続的な活動で何らかの効果が期待できるボランティア活動は、維持・発展できるよう環境を整えていきます。 ◆住民のニーズや意欲をふまえた多様な福祉ボランティア講座の開催を検討します。 ◆福祉ボランティアのコーディネート機能の強化を図ります。	23	福祉課	社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に対し補助金を交付した。 ＜補助率＞10/10 ＜支出済額＞759,261円	引き続き社会福祉協議会へ補助金を交付し、ボランティアセンターの機能強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	ボランティア人材の育成のため、地域支援ボランティア養成研修(全5回)を実施。その後、ボランティア登録をしてもらい地域での活動につなげた。	ボランティア研修として、地域支援ボランティア養成研修と災害ボランティア研修を隔年で実施する。	未実施	未実施	未実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	・ボランティア関連研修へ参加した。 ・他町のボランティア担当者との意見交換会を実施し、情報共有、情報収集を行った。	研修会や養成講座に参加しコーディネート機能強化に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	④所管	⑤R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	⑪数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8
主要な施策(3)小地域福祉ネットワーク活動の推進															
小地域福祉ネットワーク活動の推進	具体的な施策														
	支え合い活動の推進	◆地域の絆づくりにつながる住民参加の事業の開催を支援します。 ◆自治会、福祉委員と協働し、地域における福祉活動への理解と推進に取り組みます。	24	健康対策課	高齢者ができる限り自立し、生きがいをもち、安心して暮らせる社会づくりを推進するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブへ運営費を助成した。 連合会 694,000円 単位クラブ 2,068,000円(33クラブ)	継続して地域住民が参加できる事業が推進できるように助成していく。	実施	実施	実施	実施	実施	令和8年度より、老人福祉事業の所管が福祉課から健康対策課に移管			
				社会福祉協議会	身近な地域で支えあいの輪を広げ、安心して暮らせる地域づくりの推進役である福祉委員の設置など以下の取り組みを行った。 ①福祉委員を通じた小地域福祉活動の推進 福祉委員84集落、133人 ②福祉委員を対象にした研修会の実施 ③サロン活動 職員派遣回数38回 ・ふれあいサロン活動 ・老人クラブによるサロン、いきいき百歳体操、eスポーツ体験など集いの場	福祉委員活動を継続し、小地域の支え合い体制づくりを推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
	小地域福祉ネットワーク活動の構築	◆小地域福祉ネットワーク活動の基礎となる自治会活動の支援を行います。 ◆住民が地域福祉を「我が事」として考え、行動できるように働きかけます。 ◆地域へのアウトリーチ活動を推進し、地域課題の把握と解決に向けた検討を行います。	25	企画課	集落の自治活動の振興を支援するため地域自治活動交付金を交付した。 89集落 16,044,568円	引き続き集落自治活動の振興支援に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				福祉課	地域における福祉活動の推進のため助成を行った。 ・民生児童委員協議会運営補助金 ＜交付額＞2,096,481円 ・伯耆町社会福祉協議会補助金 ＜対象事業＞愛の輪運動事業 ＜補助率＞5/10 ＜交付額＞516,249円	小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、引き続き事業に要する補助を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	座談会 令和7年度未実施(座談会内容の検討をしたが、効果的な内容のものが見いだせなかった。)	令和8年度からテーマを新たにしてい、地域の現状や課題について把握し、社協事業に活かしていけるようにする。	未実施	実施	実施	未実施	実施				
				社会福祉協議会	災害時に避難行動に支援が必要となる「要援護者」や、その支援を行う「支援者」、避難所やその経路、地域の危険箇所等の情報を記載し、避難や支援を迅速行うための手段として活用する地図を各地域の自治会とともに作成した。 支え愛マップづくり 1集落	マップづくりを進めていく中で、各地域の課題についても集約・検討し、関係機関に繋ぐなど必要に応じた対応をしていく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				健康対策課	「生活支援コーディネーター」と「協議体」を設置し、地域における支え合い活動を推進した。	引き続き生活支援コーディネーターの地域での支え合い活動の取り組みを推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施				

施策		⑦内容	番号	④所管	②R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況							
							R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8				
	地域福祉の担い 手づくり	◆高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすために、地域や介護保険施設等においてボランティア活動を行う「介護支援ボランティア」を養成します。 ◆地域福祉活動に、住民が担い手として参加できるきっかけづくりを推進します。 ◆講座や研修会を通じて、地域福祉活動を展開できる人材を育成します。	26	健康対策課	町主催による、介護支援ボランティア養成講座は終了。 令和5年度以降、実施主体を社会福祉協議会に移行し、後方支援を行っている。なお、令和7年度は町主催の健康運動アドバイザー養成講座との共同開催で実施した。 社協主催「地域支援ボランティア養成研修」実施回数 1回(5回シリーズ) 受講修了者 7名	社会福祉協議会が実施する講座の後方支援を行い引き続きボランティアを養成することで、各種介護予防事業で活躍する場をつくり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを行っていく。 また町主催の健康運動アドバイザー養成講座(4年に1回)と共同開催として実施する。	実施	完了	完了	完了	完了	事業継続中(隔年実施) 実施主体を社会福祉協議会に移行	介護支援ボランティア養成講座の受講者数	6人	0人	20人				
				社会福祉協議会	これまでの町主催の「介護支援ボランティア養成講座」を、令和7年度から名称を「地域支援ボランティア養成研修」として社会福祉協議会が実施。 令和7年度は介護保険や認知症などについての研修を行い、地域での活動につなげた。	地域支援ボランティア養成研修は隔年で実施するため、次回は令和9年度に開催予定。地域支援ボランティア養成研修を実施しない年度は、災害ボランティア研修を実施する。			未実施	実施	実施	事業継続中(隔年実施) 実施主体を社会福祉協議会に移行								
				社会福祉協議会	福祉委員制度により、地域福祉の担い手づくりを推進した。	引き続き福祉委員制度等の地域福祉活動が活性化するように、住民の活動参加を促していく。	実施	実施	実施	実施	実施									
				社会福祉協議会	地域福祉活動を担う人材の育成を以下のとおり取り組んだ。 ・愛の輪運動推進会議兼福祉委員研修会 小地域単位6校区で実施	引き続き人材育成に繋がる講座や研修会を企画、推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施									

主要な施策(4)福祉活動への支援

具体的な施策																
福祉活動への支援	各種福祉活動団体への支援	◆地域の実情に応じ自主的に活動する様々な活動団体の活動を支援することにより、支え合いの地域づくりを推進します。 ◆各種団体の研修活動を推進し、活動の活性化を図ります。 ◆各種団体の事務局を担うとともに、自治会や福祉団体の活動資金を助成します。	27	健康対策課・福祉課	地域の自主的な福祉活動団体に対して助成を行った。 老人クラブ(単位、連合会)、敬老会、身体障害者福祉協会、日赤奉仕団	引き続き各種福祉団体の活動が活性化するように助成を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施	令和8年度より、老人福祉事業の所管が福祉課から健康対策課に移管				
				健康対策課	オレンジカフェを運営する団体または個人に対し、補助金を交付し、認知症になっても住み慣れた地域で、安心して尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにするとともに、認知症の人の家族負担を軽減した。 補助金交付対象 2団体 補助金交付額 240,000円	オレンジカフェ開催団体に対し、今後も補助金を交付し交流の場を確保する。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	年間を通じて各種団体の研修、学習活動を企画、実施することを事務局として支援した。 老人クラブ、赤十字奉仕団、身体障害者福祉協会	引き続き各種団体の研修、学習活動を企画し、団体活動の活性化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	①各種団体の事務局を担った。 身体障害者福祉協会、遺族会、老人クラブ、赤十字奉仕団 ②自治会や福祉団体の活動資金を助成した。 福祉委員活動助成、サロン助成	継続して事務局を担い、各種団体の活動を支援し、活動促進を図っていく。集落の福祉活動を推進するため各種助成を継続して行う。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策		⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況			
							R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8
	団体間の交流・ 連携の促進	◆一体的な地域福祉活動が展開できるように、各種団体間の交流や連携の促進を図ります。 ◆連絡会や研修会を通じて、活動に関する情報共有や連携を図	28	社会福祉協議会	団体間連絡会 未実施(調整出来なかった。)	各団体間の交流や連携が促進できるような場の検討をしていく。	未実施	検討	検討	未実施	実施					
		福祉活動情報の 提供	◆福祉活動への理解・認識を深めるため、福祉活動団体に関する情報の提供を行います。 ◆地域福祉の担い手や専門機関の活動を支援するため、必要な情報の収集を行うとともに、積極的な情報提供に取り組みます。	29	企画課	文字放送や区長便などで福祉活動担当課が周知したい福祉情報を提供できるような場を設けた。	引き続き情報提供の場を設け、必要に応じて活用ができる状態を作っておく。	実施	実施	実施	実施	実施				
	社会福祉協議会				各種団体の活動について岸本保健福祉センター玄関でパネル展示を一定期間実施した。老人クラブは広報を年間4回発行した。	引き続き、各種団体の活動状況について本会の広報紙に掲載するとともに、各種団体でも広報紙を発行する。	実施	実施	実施	実施	実施					
主要な施策(5) 社会福祉協議会との連携強化																
社会福祉協議会との連携強化	具体的な施策															
	社会福祉協議会へ活動支援と連携強化	◆地域福祉の推進に向けて、社会福祉協議会との連携強化及び活動支援を行います。	30	福祉課	・地域福祉活動の推進を図るため補助を行った。 伯耆町社会福祉協議会補助金67,577,034円 ＜対象事業＞事務局運営、老人福祉センター運営、愛の輪運動、ボランティア推進、さわやか福祉、溝口健康増進 ・地域福祉推進プランの前年度取組み状況と今後の取組みの推進について意見交換を行った。	引き続き伯耆町社会福祉協議会の活動推進のための補助を行うとともに、活動の連携の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	住民と社会福祉協議会の協働による福祉的課題の検討	◆住民と社会福祉協議会が事業を通して地域の福祉的課題を共有し、どのように解決していくのか一緒に考えて考える場を設けます。	31	社会福祉協議会	住民と地域の福祉的課題を考える場として、以下の取り組みを行い、地域の課題の共有を図った。 ①座談会(R7未実施) ②福祉委員、サロン ③支え愛マップづくり	引き続き各種事業を通じ把握した地域課題について関係機関との課題共有や解決策の検討に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	社会福祉協議会の基盤強化	◆人材育成、確保、定着により、組織力・専門性を高めます。 ◆会員の拡大や収益事業等による財源確保に努めます。	32	社会福祉協議会	地域福祉推進の中核を担う組織として、関係機関とのネットワークを形成し、地域福祉の推進に向けた体制の充実や、スタッフの専門性を高めるように組織体制充実の取り組みを行った。 ①内部・外部研修への参加 ②資格取得助成 ③職員会議、ミーティング実施	研修参加や資格取得を積極的に図り、スタッフのスキルアップを通じて組織力の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施		社会福祉協議会の会員数	一般 会員 2,477 世帯 特別 会員 25企 業・団 体 賛助 会員4 人	一般 会員 2,328 世帯 特別 会員 28企 業・団 体 賛助 会員5 人	増加
				社会福祉協議会	安定的な法人経営のため、以下の取り組みを通じて財政基盤強化を図った。 ①社協会員加入促進 ②共同募金事業 ③各種補助金・助成金の積極的活用 ④健康増進事業	継続して会員加入促進と収益確保に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	①所管	②R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	③-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	③-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況					
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8		
主要な施策(6)災害時の防災体制の充実																	
災害時の 防災体制の 充実	具体的な施策																
	災害時要援護者 台帳制度の周知、推進	◆災害時要援護者台帳制度について、区長協議会等で周知します。 ◆整備した災害時要援護者台帳は関係行政機関、自治会等で情報共有を図ります。	33	総務課	災害時要援護者台帳制度の周知、整備として、各区長へ登録済みの方の継続意思確認、新規登録者の取りまとめを依頼し、適宜更新を行った。	引き続き台帳の更新を適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施		災害時要援護者台帳登録者数	409人	280人	増加	
					災害時要援護者台帳の情報共有として登録者がいる集落へ更新した台帳を配布した。	引き続き台帳の更新を適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	避難所等の整備	◆要配慮者が安心・安全に避難所生活を送るための福祉避難所を指定します。 ◆避難の実施に必要な施設・設備の整備に努めます。 ◆町営住宅にり災時等対応居室を確保します。	34	総務課	現在、福祉避難所は岸本保健福祉センター、岸本老人福祉センター、溝口福祉センター、岸本デイサービスセンターの4か所を指定。	必要に応じて住民へ福祉避難所について周知を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
				総務課	避難所物品等を必要に応じ整備した。	引き続き施設及び設備の必要な整備を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
				教育委員会	り災時対応住宅を2戸1棟を維持管理した。	引き続き必要数を維持していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	自主防災組織への支援	◆自主防災活動で必要となる物品購入や設備更新に対して支援を行います。 ◆自主防災組織に対して防災に関する情報提供や指導を行います。	35	総務課	自主防災組織で必要な物品購入や設備の修繕に対し、消防施設整備補助金・集落防災活動促進事業補助金を交付した。 【消防施設整備補助金】 申請件数 16件 交付金額 2,319,000円 【集落防災活動促進事業補助金】 申請件数 1件 交付金額 176,000円	引き続き自主防災組織に必要な補助金を交付していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
				総務課	防災情報や指導の取組みを行った。 ・町防災無線を通じ、適宜防災情報を提供した。	防災に関する情報提供や指導について適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	防災訓練の実施	◆災害時に住民が落ち着いた避難行動をとれるよう、避難訓練等の防災訓練を実施します。	36	総務課	伯耆町防災の日に合わせて全町対象に避難訓練を実施した。(区長協議会主催) 駅前集落と押口集落を対象に避難所訓練を岸本公民館で実施した。	引き続き避難訓練を年1回程度実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
				社会福祉協議会	災害時に避難行動に支援が必要となる「要援護者」や、その支援を行う「支援者」、避難所やその経路、地域の危険箇所等の情報を記載し、避難や支援を迅速行うための手段として活用する地図を各地域の自治会とともに作成した。 支え愛マップづくり R7 1集落	マップづくりを進めていく中で、防災訓練や避難訓練についても検討を行い、必要に応じて実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施						

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑧-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑧-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	⑨数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8
	災害ボランティアセンターの機能強化	37	社会福祉協議会	災害ボランティアセンターの設置・運営マニュアルは作成してあるが、それに基づいた訓練等は未実施。ただし、BCPの観点で、発災時の対応については机上訓練を実施した。	マニュアル自体が以前に作成したものであり、内容について問題はないか点検をする。災害ボランティア研修を開催し、住民の理解を促進していく。	未実施	未実施	未実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	鳥取県内社会福祉協議会災害時の相互応援協定を締結している。	県社協を中心に県内社協で応援協定を結び、広域災害支援の連携体制を充実させていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

基本目標3 いきいきと暮らせる環境づくり

主要な施策(1)地域における交流活動の充実															
具体的な施策															
	交流の場、居場所づくり	◆高齢者の介護を行っている人や子育て中の保護者等、同じ悩みを抱えている人同士が交流できる場の充実に図ります。 ◆障がい者の居場所づくりの推進を図るため、日中活動を支援する取り組みを行います。 ◆公共施設を有効に活用し、気軽に立ち寄ることができる場づくりに努めます。 ◆交流拠点となる自治会公民館の整備や交流等の地域活動を支援します。	38	健康対策課	伯耆町障がい老人をささえる家族の会が行う介護家族のつどい、家族介護教室などを行うための事務的な補助と専門職の派遣を行った。 実施回数 12回 会場 パルプラスオンの和室または溝口公民館和室(交互) 認知症地域支援推進員	引き続き、当事者やその家族、知人などが気軽に集まり、和やかな雰囲気の下で交流を楽しみながら、高齢になっても住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにするとともに、その家族の負担を軽減するため、活動拠点の運営をサポートする。	実施	実施	実施	実施	実施				
				福祉課	子育て支援センターで、子育てに関する情報提供、手作りおもちゃの講習や遊びの紹介、保護者のストレス軽減のための活動、季節に合わせた交流行事、子育て相談等を実施した。 延べ利用人数:子ども 2,226人、大人 2,020人 延べ利用世帯数:113世帯	子育て支援・交流の場の提供を図るため、子育て支援センターの運営を継続して実施する。 また、新たな子どもの遊びの場の整備について検討する。	実施	実施	実施	実施	実施				
				福祉課	溝口駅前の障害者社会参加推進の施設運営費を支援した。 実施事業所(伯耆みらい) 補助金額 2,400,000円 営業日244日、職員体制3人 地域でのふれあい居場所づくりとして、茶話会等の実施。町内イベントに参加。	障がい者社会参加を推進するため、引き続き施設の運営に対し補助を実施する。 地域で障がい者も参画するふれあいの居場所としての活用例が増加するよう取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	障がい者の居場所づくりとして身体障害者福祉協会の活動を支援し、研修会、体育大会、レク活動等の取り組みを行った。	引き続き事業を実施し、障害者の生活を支援していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				社会福祉協議会	みぞくちテラスで、運動や作業を通じた仲間づくり、居場所づくりを推進した。 来館者数7,329人	運動や作業を通じて、地域の高齢者等が集える居場所となるようにしていく。	実施	実施	実施	実施	実施				
				福祉課	ひきこもり支援として対象者の交流、居場所づくりを行う「ひきこもりサポート事業」を令和6年度から実施(実施先:伯耆みらい)。	ひきこもり支援の施策として周知を図り定着させていく。	未実施	検討	実施	実施	実施				

施策		⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑧-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑧-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	⑨数値目標及び目標達成状況			
							R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8
地域における交流活動の充実		◆福祉委員、老人クラブ等と連携し、気軽に楽しく、身近なところで参加しやすいサロン活動を実施します。		関係各課	公共施設の有効活用により交流の場を設けた。 ・溝口テラスのセルフカフェを誰でも自由に利用でき、地域交流の場とし提供した。	引き続き施設を有効活用した、地域住民の交流の場の整備を推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				企画課	地域交流の場の整備として集落が管理している公民館等の整備に対し補助を行った。 ＜公共施設整備事業＞ ・公民館等の整備拡充等 6件（立岩②、小野、福岡、上の名、福永） ・その他付随設備 4件（伯耆NT、宇代、荘三、金屋谷） ・墓地外構 1件（上細見）	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	身近な地域で参加できるサロン活動として以下の事業実施を支援した。 ・ふれあいサロン活動 ・老人クラブによるサロン、eスポーツ体験など集いの場	地域住民が気軽に参加できるサロン活動を維持充実させていく。	実施	実施	実施	実施	実施		ふれあいサロン開催回数	67集落143回	45集落195回	増加
	交流の機会づくり	◆障がい者の社会参加を進めるため、障がい者と学校や地域との交流活動を促進します。 ◆地域や各種団体と連携しながら、世代間を超えた交流とふれあいの場、地域住民が積極的に学びあう機会を提供します。 ◆地域とのつながりが希薄な人や地域活動に関わる機会が少ない人が参加しやすい交流の機会を設けます。	39	福祉課	障害者社会参加推進活動拠点運営により「ポップ miraい」の活動費を助成し障害者と学校や地域との交流活動を促進した。	引き続き拠点活動費を助成し、交流活動を促進していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	イベント「ふくしの集い」を開催し交流の機会づくりに努めた。 開催日 令和7年9月27日 場所 鬼の館	継続して企画、開催し、地域や福祉団体のふれあいの機会を提供する。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	独居高齢者の交流や閉じこもり予防を目的に、「実りの会」を実施した。 実施回数 6回、参加者数 131人	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
				教育委員会	各公民館、文化センター、図書館で様々な世代への学習機会の提供を図る講座・事業等を実施し、交流の機会を設けた。	各公民館等で地域住民が参加しやすい講座・事業等を継続して開催する。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	①所管	②R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	③-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	③-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	④数値目標及び目標達成状況				
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8	
主要な施策(2) 社会参加・生きがいつくりの推進																
社会参加・ 生きがいつくりの 推進	具体的な施策															
	シルバー人材センターへの加入促進	◆シルバー人材センターの活動に対する支援を行い、高齢者の生きがいや健康及び地域福祉の推進を図ります。 ◆生きがいつくりと就労機会の拡大のため、シルバー人材センターの加入促進を図ります。	40	健康対策課	南部広域シルバー人材センターの活動を支援するため補助を行った。 補助金額 6,616,632円	南部広域シルバー人材センター活動を支援するため、引き続き補助を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施	令和8年度より、老人福祉事業の所管が福祉課から健康対策課に移管	南部広域シルバー人材センターに登録している人数	348人	322人	400人
	生活支援体制の整備	◆地域における支え合い活動を推進することで、地域全体で高齢者・障がい者等の生活を支える体制づくりを推進します。	41	健康対策課	「生活支援コーディネーター」と「協議体」を設置し、地域における支え合い活動を推進することで、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを推進した。 生活支援コーディネーターの設置 2人 協議体の開催 2回 地域に出向いての通いの場での意見交換(まめまめクラブやサロン等) 46箇所 デマンドバス体験事業(外出移動支援事業) 2回 広報ほうきへの啓発記事の掲載 3回(7・11・3月号) ※R5年度までは、年2ヵ所の住民主体の通いの場の創出を実施してきたが、R6～8年度は新たに通いの場での意見交換会を1箇所につき年1回開催する。(目標設定を変更した)	引き続き、社協と協働しながら、地域における支えあい活動を推進する。	実施	実施	実施	実施	実施		生活支援コーディネーターが支援を行った住民主体の活動団体数	2件	46件	10件
	生きがいつくりの支援	◆障がい者の生きがいつくりを推進するため、就労支援体制等の充実を図ります。 ◆高齢者に生涯学習の場を提供することにより、健康で生きがいのある生活づくりを支援します。	42	福祉課	障害福祉サービスの提供により就労支援を図った。 就労移行支援 0人 就労定着支援 0人 就労継続支援A型 22人 就労継続支援B型 60人	障がい者の社会参加を推進するため、引き続き就労移行及び就労継続の支援を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
			教育委員会	生涯学習提供の場として、各公民館で高齢者学級を開催。また、4館合同での研修会を開催した。	各公民館、4館合同での高齢者学級等を継続して開催する。	実施	実施	実施	実施	実施						

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R7年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑧-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑧-2各年度の実施見込み(予定)					備 考	⑨数値目標及び目標達成状況				
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R7	目標 R8	
主要な施策(3)外出しやすい環境の整備																
外出しやすい環境の整備	具体的な施策															
	移動手段の確保	◆高齢者や障がい者等の交通弱者に対する移動支援の充実を図ります。 ◆デマンドバス、外出支援サービス等について利用しやすい環境づくりに努めます。 ◆住民同士が助け合い運行する共助交通の立ち上げを検討します。	43	分庁総合窓口課	各種障害者手帳所持者(指定難病も含む)及び介護認定を受けている者を対象に、『外出支援サービス』として、自宅から医療機関までの送迎を実施した。(登録制) 登録者数 103人 利用者数 延べ1,009人	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施		外出支援サービス登録者数	104人	103人	110人
				分庁総合窓口課	・デマンドバスの利用ニーズに合わせた運行調整(バス停新設・移設やダイヤ調整)を実施した。 ・デマンドバスの利用方法を広報、CATVにて周知した。 利用者数 延べ22,822人(有償利用)	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施		デマンドバス利用者数	23,629人(R1)	22,822人	20,000人
				社会福祉協議会	有償運送事業を実施し、要介護の方や障害の方の移動を支援した。 利用者数 延べ163人(移送回数808回)	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	生活支援コーディネーターと連携して取り組んでいる「伯耆おたがいさまネット」で他の福祉課題とともに共助交通について体制づくりやにニーズの高い地域でのデマンドバス体験を行った。	引き続き、デマンドバス体験を実施していく。	検討	検討	実施	実施	実施					
	バリアフリー環境の整備	◆公共施設のバリアフリー化を図るため、個別施設計画等に基づき、改修を検討します。 ◆民間施設、店舗等のバリアフリー改修を推進するため、改修費用の助成を行います。	44	総務課	B&G総合スポーツ公園内の木製遊具老朽化に伴い、新たにインクルーシブ遊具を設置した	引き続き必要な部分について検討していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
				福祉課	・民間施設、店舗等のバリアフリー改修を支援するため、福祉のまちづくり推進事業を実施した。 助成件数 0件 ・上記事業により整備を行う建築主の募集を行った。 応募件数 0件	引き続き事業を継続し、バリアフリー環境を整えていく。	実施	実施	実施	実施	実施					